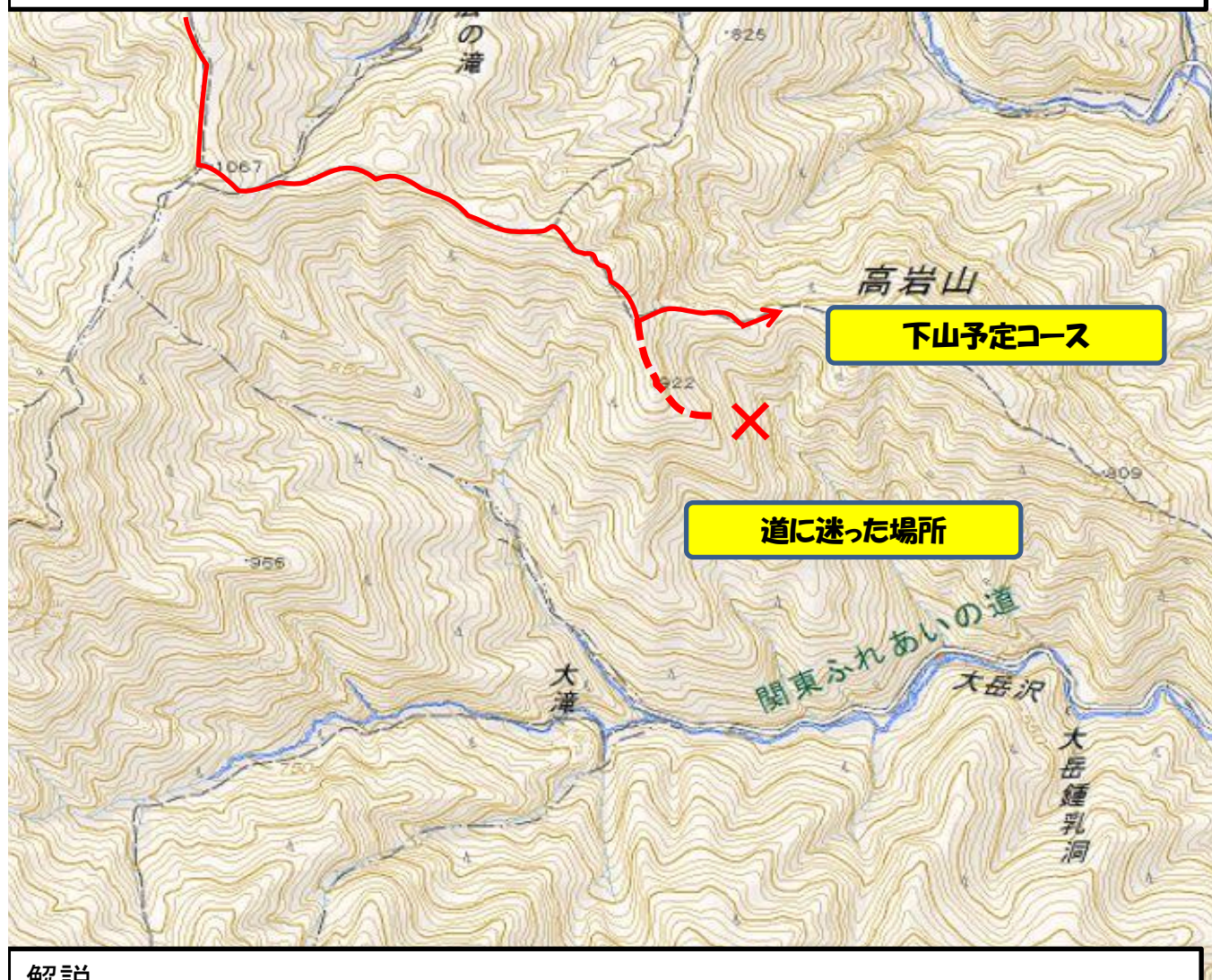


上高岩山遭難(2009年4月)

道に迷い、獣道を歩く。掴まった枝が折れ、滑落し足首を骨折。携帯電話がつながり事なきを得た。



解説

「御岳山に登り、獣道を行って掴まった枝が折れ、4mほど滑落し足首を骨折。ヘリの音は聞こえるが見えない。七代ノ滝に行って、別の道を通して汚い展望台に行き、獣道を入ったところです。御岳山のケーブルが右手に見えます。」と遭難者から携帯電話で連絡が入る。

場所の特定が比較的容易にできたため、遭難者の声を頼りに発見され、ヘリでピックアップし、事なきを得た。

道が直角に曲がっている下り道。この地点を遭難者は見落とし、道迷いに至った。このパターンの道迷いはとても多いので要注意である。「922mまでの平らな尾根が出たら東側に90度直角に道は曲がる」と事前に予測していれば・・・。

「あれっ。獣道はおかしい。」と思っても、「なんとかなるだろう」と進んでしまう。これが道迷いなのだ。